

【平成22年度採用職員】新人アンケート

Q1. 職業安定行政を選んだきっかけは？

学生時代、アルバイトをしていて、あるとき働かなければ、お金を稼がなければ生活できないということに実感として気づいた瞬間がありました。就職活動をするに当たって、自分の「働く」を考える内に、多くの人にお金を稼ぐ以外の「働く」ことの意義を持てるような、役割を担いたいと考えるようになり、職業安定行政を選択しました。

Q2. 現在の仕事のやりがいは何ですか？

新聞やTVなどで所管している事業が取り上げられた時です。入省当初、帰省中の新幹線の中で、電光掲示板のニュースに自分の所管する事業のことが流れたことがあります。そのときは感激のあまり、流れる電光掲示板の文字を、必死に写真に納めました。(笑)

また、上司に、自分の意見を認められた際は、社会人としてのやりがいを感じます。

Q3. 職場の雰囲気はどんな感じですか？

厚労省全体の雰囲気、職業安定局の雰囲気、職業能力開発局の雰囲気、それぞれ違うかとは思いますが、私としては総じて「温かい」職場だという印象です。これは入省前に感じた印象と変わらなかったなので、ホッとしています。

また、仕事に対してまじめで誠実であるという印象を持ちます。みなさん膨大な作業に追われる日々を送っていますが、すべてに対して真摯に向き合って仕事に取り組んでいます。

Q4. 仕事をする際に気を付けていることは？

スピード感を持つことと、ミスがないよう見直すこと、さらには説明を簡潔にすることです。これら3つを同時に達成するのはとても難しいですが、作業が次から次にやってくる中で、できるだけ早く作業を行うことが必要です。また、私はうっかりミスが多いので、上司にあげる前、回答をする前に見直すようにしています。そして、その際には、どのような順番で説明をすれば理解しやすいかをシュミレーションしながら見直すようにしています。

Q5. 学生時代はどのように過ごしていましたか？

よく遊び、よく学び、よく語り、よく悩んだ4年間を過ごしました。特に、就職活動をするにあたっては、これからの人生をどう過ごすかについて、とことん気の置けない友人などと語り合い、悩み抜きました。真剣に考えたからこそ、今の仕事に満足していますし、後悔はないと言い切ることができます。